

お知らせ

資料提供先

合同庁舎記者クラブ・鳥取県政記者会・島根県政記者会・岡山県政記者クラブ
広島県政記者クラブ・山口県政記者クラブ・山口県政記者会・山口県政滝町記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

平成28年度 第3次補正予算概要 (中国地方整備局関連)について

- 補正予算の事業実施箇所については、国土交通省HP
http://www.mlit.go.jp/page/kanbo05_hy_001317.html をご覧ください。

電話でのお問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局

TEL082-221-9231(代表)

(港湾空港関係)

TEL082-511-3900(代表)

【予算一般】	会計課長	志田良則	(直通:082-511-6041)
【総括】	企画課長	大野吉雄	(直通:082-511-6111)
【河川・直轄】	河川計画課長	鈴木置真央	(直通:082-511-6231)
【道路・直轄】	道路計画課長	岡本雅之	(直通:082-511-6301)
【道路・補助】	地域道路課長	安野聡	(直通:082-511-6311)
【港湾】	港湾計画課長	阿式邦弘	(直通:082-511-3905)

(広報担当窓口)

広報広聴対策官 坂屋政之
環境調整官 松本治男

1. 平成28年度 第3次補正予算の概要（中国地方整備局）

○ 国庫債務負担行為（ゼロ国債）

公共事業等の発注平準化措置として、いわゆるゼロ国債（当該年度の支出はゼロであるが、年度内に契約発注が可能）により効率的な執行を促進。

この他、鳥取県中部を震源とする地震により被災を受けた公共土木施設等の災害復旧事業を実施。

2. 平成28年度補正予算 中国地方整備局補正予算総括表

（1）国庫債務負担行為（ゼロ国）

【事業費】		（単位：百万円）		
区 分	国庫債務負担行為（ゼロ国）			
	本省配分	一括配分	計	
治 水	2,118	2,062	4,180	
直 轄	2,118	2,062	4,180	
補 助	0	0	0	
海 岸	460	0	460	
直 轄	460	0	460	
補 助	0	0	0	
道 路	4,071	4,910	8,981	
直 轄	3,751	4,910	8,661	
補 助	320	0	320	
港湾整備	2,560	0	2,560	
直 轄	2,560	0	2,560	
補 助	0	0	0	
都市水環境整備	0	102	102	
直 轄	0	102	102	
補 助	0	0	0	
一 般 公 共 計	9,209	7,074	16,283	
直 轄	8,889	7,074	15,963	
補 助	320	0	320	

※計数はそれぞれ四捨五入しているため端数において合計とは一致しないものがある。

※港湾及び海岸（港湾分）には、下関市関係を含まない。

※本省配分とは本省において全国的な観点から箇所付けを行うもの。

※一括配分とは本省配分以外の事業について、地方整備局が管轄区域内において主体的に箇所付けを行うもの。

※本表のほかに、地震等により被害を受けた公共土木施設等の災害復旧費がある。

(2) 補助事業 県別内訳表

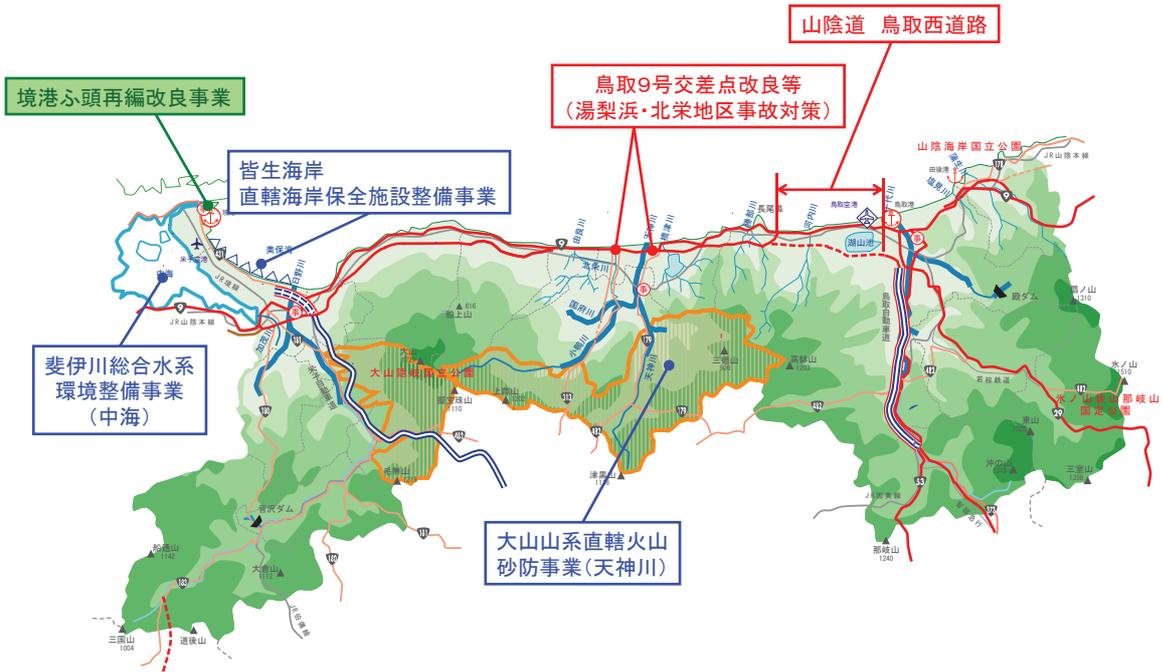
(事業費ベース 単位：百万円)

	鳥 取 県			島 根 県			岡 山 県		
	国庫債務負担行為 (ゼロ国)			国庫債務負担行為 (ゼロ国)			国庫債務負担行為 (ゼロ国)		
	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計
治 水	0	0	0	0	0	0	0	0	0
海 岸	0	0	0	0	0	0	0	0	0
道 路	100	0	100	0	0	0	220	0	220
港 湾 整 備	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住 宅 对 策	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市 街 地 整 備	0	0	0	0	0	0	0	0	0
都市水環境整備	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下 水 道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国 営 公 園 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会資本整備総合交付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
防災・安全交付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
災害復旧費等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	100	0	100	0	0	0	220	0	220

	広 島 県			山 口 県			合 計		
	国庫債務負担行為 (ゼロ国)			国庫債務負担行為 (ゼロ国)			国庫債務負担行為 (ゼロ国)		
	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計
治 水	0	0	0	0	0	0	0	0	0
海 岸	0	0	0	0	0	0	0	0	0
道 路	0	0	0	0	0	0	320	0	320
港 湾 整 備	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住 宅 对 策	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市 街 地 整 備	0	0	0	0	0	0	0	0	0
都市水環境整備	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下 水 道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国 営 公 園 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会資本整備総合交付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
防災・安全交付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
災害復旧費等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	320	0	320

3.主要事業箇所

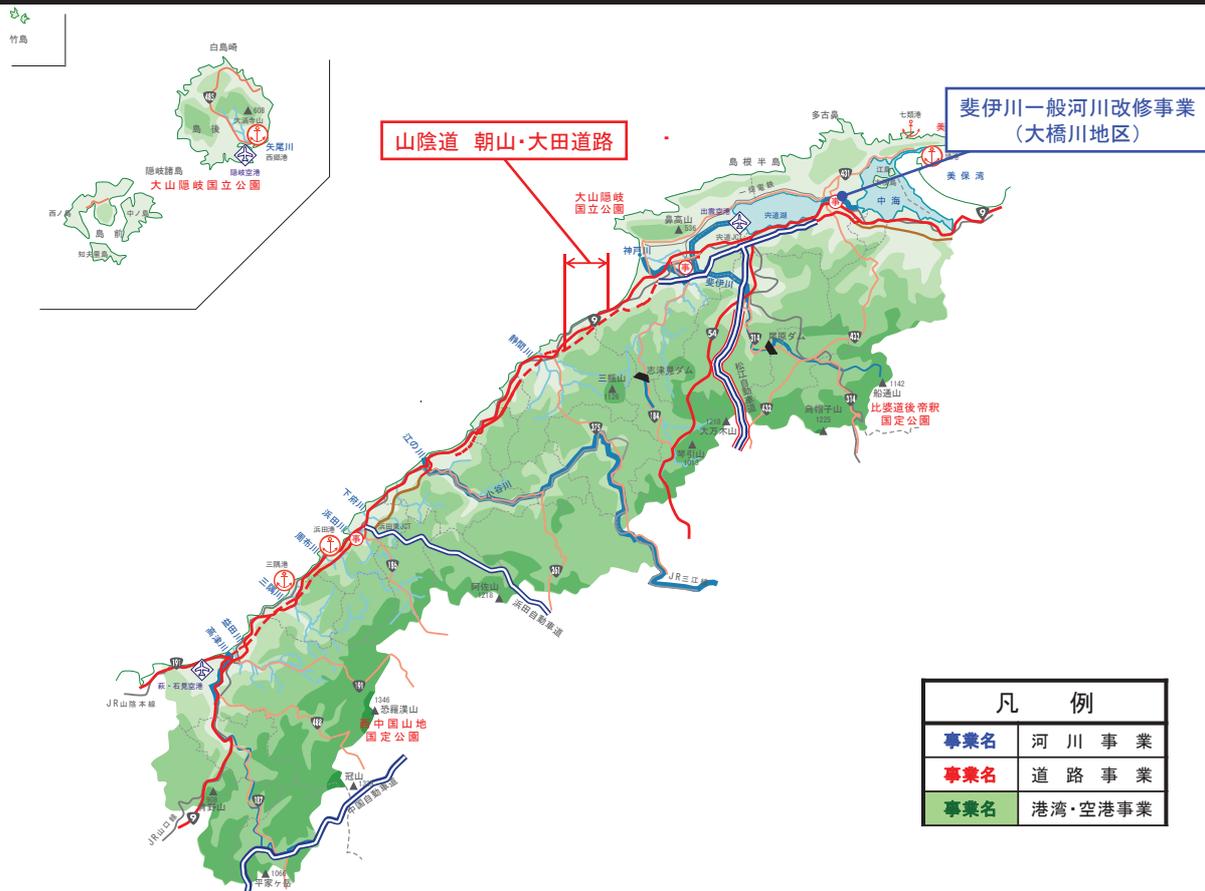
主要事業箇所【鳥取県】



凡 例	
事業名	河川事業
事業名	道路事業
事業名	港湾・空港事業

事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
斐伊川総合水系環境整備事業(中海)	河川	直轄		—	河-1
大山山系直轄火山砂防事業(天神川)	河川	直轄		—	河-2
皆生海岸 直轄海岸保全施設整備事業	河川	直轄		—	河-3
山陰道 鳥取西道路	道路	直轄		H29完成予定 (浜村鹿野温泉IC~青谷IC) H30完成予定 (鳥取西IC~浜村鹿野IC)	道-1
鳥取9号交差点改良等(湯梨浜・北栄地区事故対策)	道路	直轄		—	道-2
境港ふ頭再編改良事業	港湾	直轄		—	港-1

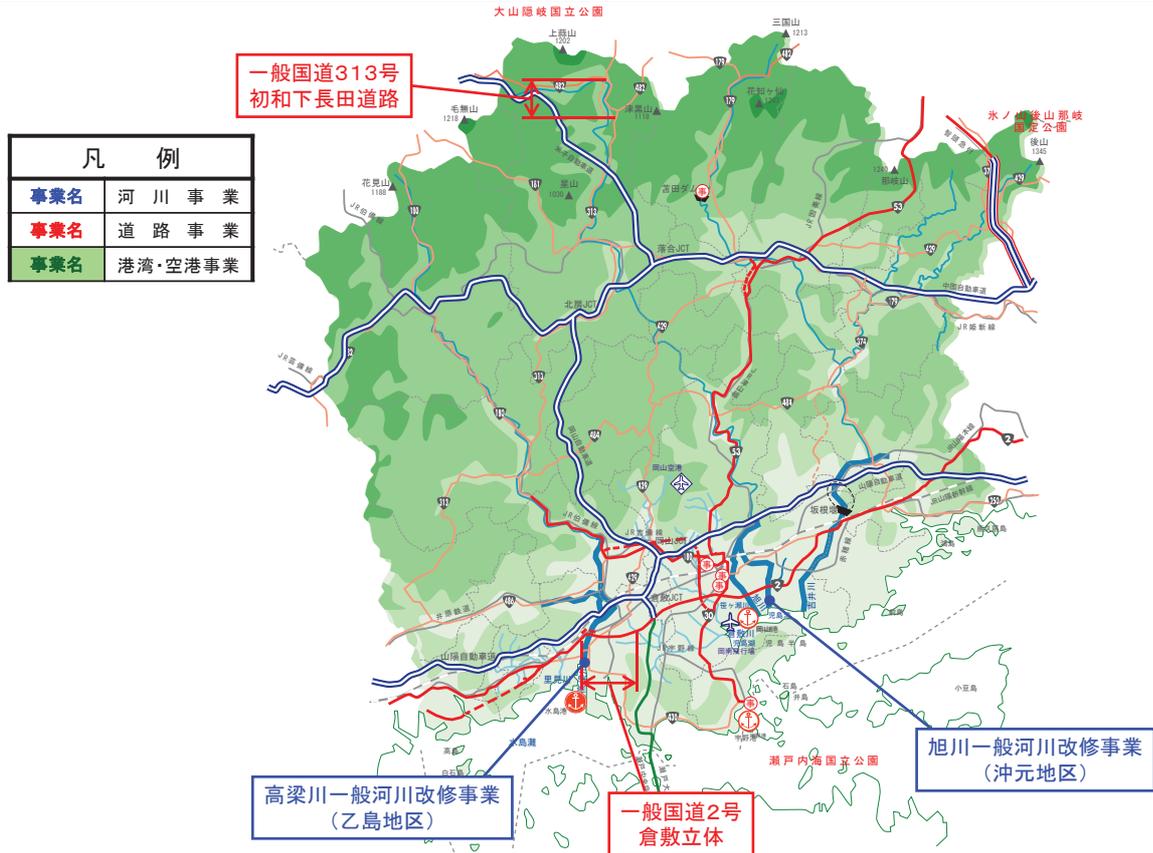
主要事業箇所【島根県】



凡 例	
事業名	河川事業
事業名	道路事業
事業名	港湾・空港事業

事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
斐伊川一般河川改修事業（大橋川地区）	河川	直轄		—	河-4
山陰道 朝山・大田道路	道路	直轄		H29完成予定	道-3

主要事業箇所【岡山県】



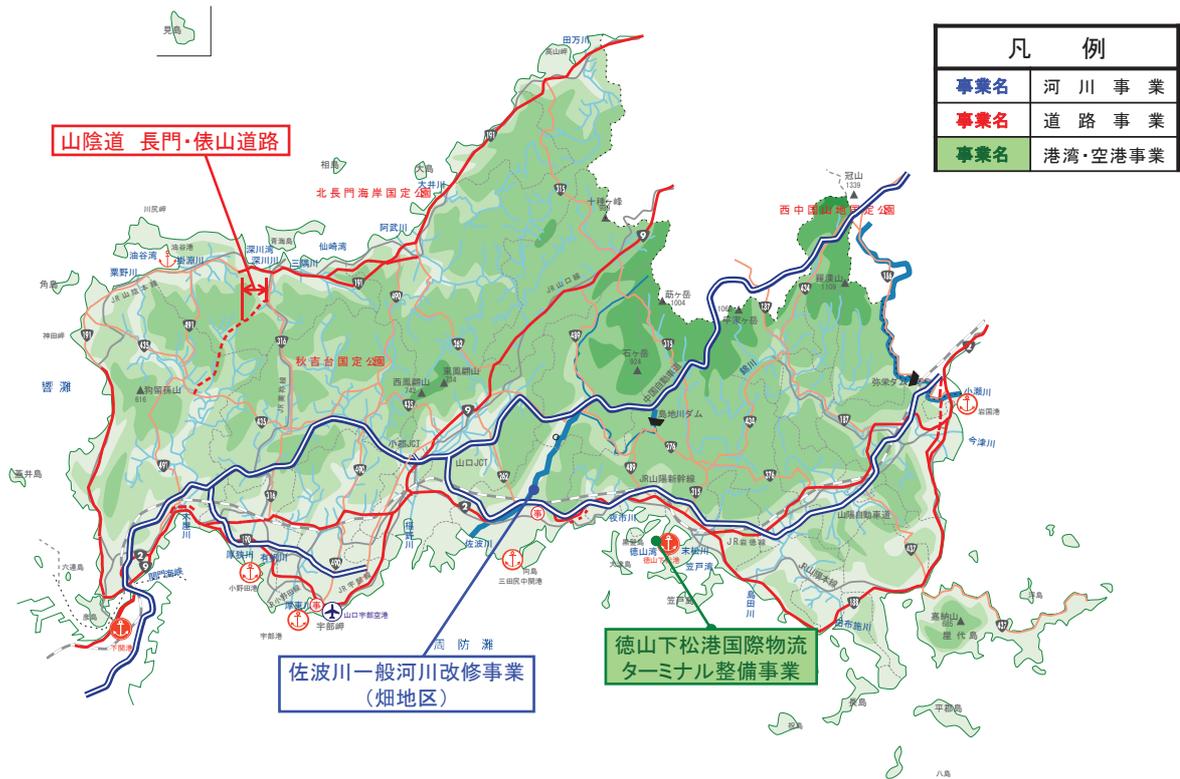
事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
旭川一般河川改修事業（沖元地区）	河川	直轄		—	河-5
高梁川一般河川改修事業（乙島地区）	河川	直轄		—	河-6
一般国道2号 倉敷立体	道路	直轄		H31完成予定	道-4
一般国道313号 初和下長田道路	道路	補助	岡山県	—	道-5

主要事業箇所【広島県】



事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
広島西部山系直轄砂防事業	河川	直轄		—	河-7
広島西部山系直轄特定緊急砂防事業	河川	直轄		—	河-8
広島54号 防災・老朽化対策	道路	直轄		—	道-6
一般国道2号 東広島バイパス	道路	直轄		—	道-7
広島市街地の高潮対策事業	港湾	直轄		—	港-2

主要事業箇所【山口県】



事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
佐波川一般河川改修事業（畑地区）	河川	直轄		—	河-9
山陰道 長門・俵山道路	道路	直轄		H31完成予定	道-8
徳山下松港国際物流ターミナル整備事業（徳山地区）	港湾	直轄		—	港-3

事業別一覧表

○河川事業

事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
斐伊川総合水系環境整備事業（中海）	河川	直轄		—	河-1
大山山系直轄火山砂防事業（天神川）	河川	直轄		—	河-2
皆生海岸 直轄海岸保全施設整備事業	河川	直轄		—	河-3
斐伊川一般河川改修事業（大橋川地区）	河川	直轄		—	河-4
旭川一般河川改修事業（沖元地区）	河川	直轄		—	河-5
高梁川一般河川改修事業（乙島地区）	河川	直轄		—	河-6
広島西部山系直轄砂防事業	河川	直轄		—	河-7
広島西部山系直轄特定緊急砂防事業	河川	直轄		—	河-8
佐波川一般河川改修事業（畑地区）	河川	直轄		—	河-9
河川維持修繕事業	河川	直轄		—	河-10

○道路事業

事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
山陰道 鳥取西道路	道路	直轄		H29完成予定 （浜村鹿野温泉IC～青谷IC） H30完成予定 （鳥取西IC～浜村鹿野IC）	道-1
鳥取9号交差点改良等（湯梨浜・北栄地区事故対策）	道路	直轄		—	道-2
山陰道 朝山・大田道路	道路	直轄		H29完成予定	道-3
一般国道2号 倉敷立体	道路	直轄		H31完成予定	道-4
一般国道313号 初和下長田道路	道路	補助	岡山県	—	道-5
広島54号 防災・老朽化対策	道路	直轄		—	道-6
一般国道2号 東広島バイパス	道路	直轄		—	道-7
山陰道 長門・俵山道路	道路	直轄		H31完成予定	道-8

○港湾・空港整備事業

事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
境港ふ頭再編改良事業	港湾	直轄		—	港-1
広島市街地の高潮対策事業	港湾	直轄		—	港-2
徳山下松港国際物流ターミナル整備事業（徳山地区）	港湾	直轄		—	港-3

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

斐伊川水系斐伊川の中海は、多くの水鳥の渡来地となっており、世界的にも重要な湿地として、ラムサール条約に登録されています。また、豊かな自然環境は地域の観光資産にもなっています。

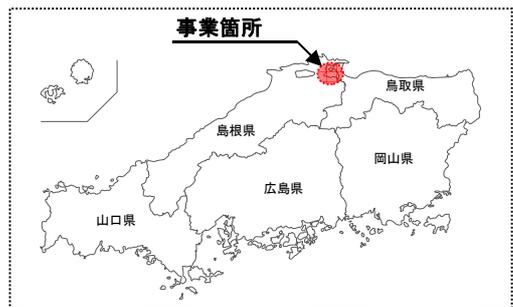
しかしながら、水質の観測が始まった昭和48年頃から、環境基準を満足していない状態が続いており、赤潮・アオコといった富栄養化現象の発生や夏場を中心とした湖底付近の貧酸素水塊の形成が湖の生態環境に大きな影響を与えています。

このため、水質改善を目的として、沿岸域において動植物の生育基盤となる浅場の整備を実施するとともに、底質が悪い箇所には覆砂を実施することにより、湖の自然浄化機能を向上させ、水質浄化を図ります。

また、これらの整備により湖に近づきやすい環境が整備され、良好な水辺空間の形成による観光地の魅力を向上させます。

2. 事業箇所

よなご よしづ
鳥取県米子市葭津地先



3. 平成28年度(補正)予定事業内容

浅場造成 A=5千m²

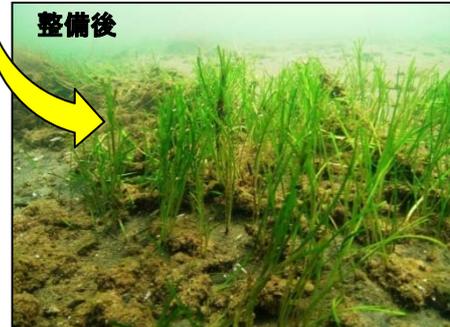


(中海 浅場造成) 動植物の生育基盤を再生

整備前



整備後



4. 期待される整備効果

浅場造成により、生物の生息環境が改善され、自然が本来もつ浄化機能を回復して湖内の水質浄化を図るとともに、湖岸の景観も向上します。

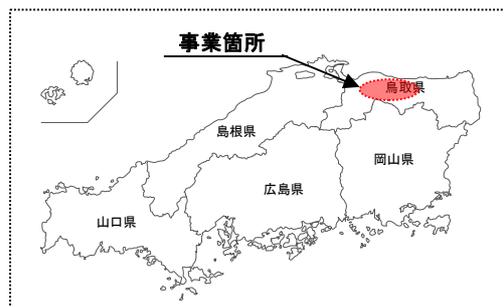
1. 事業の必要性及び概要

事業推進

大山山系は火山岩等の脆弱な地質が分布し、荒廃が激しく、山麓斜面には侵食されやすい火山堆積物や周辺には風化が進んだ花崗岩が厚く堆積しており、土砂流出による災害発生の危険性が高いため、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全することを目的として砂防堰堤等の整備を推進します。

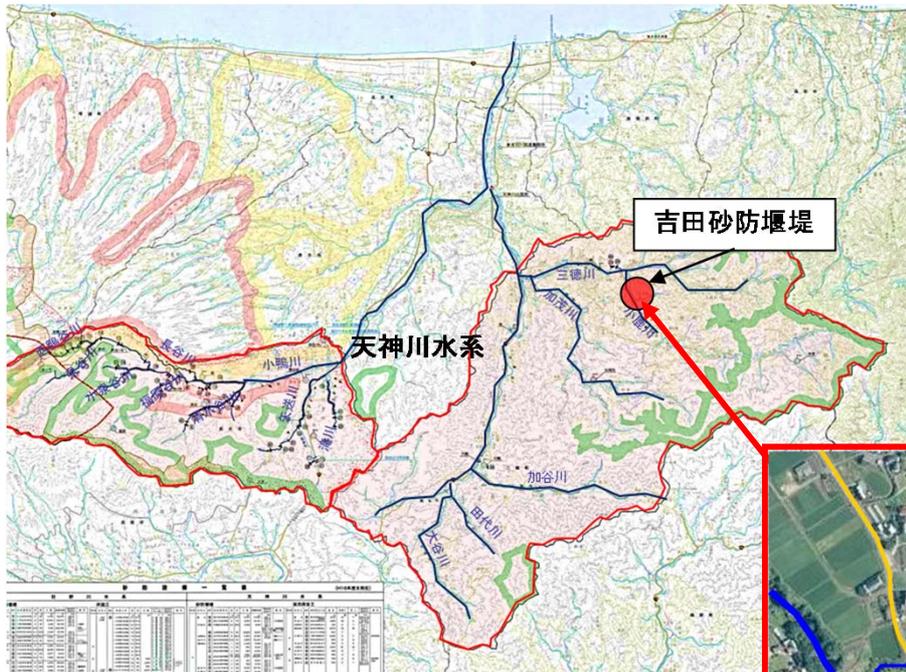
2. 事業箇所

とうはくぐん みささちよう
鳥取県東伯郡三朝町



3. 平成28年度(補正)予定事業内容

よした
吉田砂防堰堤において付替道路(管理用道路)の整備を実施します。



4. 期待される整備効果

砂防施設の整備により、倉吉市等の下流市街地において、土砂を起因とする洪水氾濫の防止・軽減を図ります。

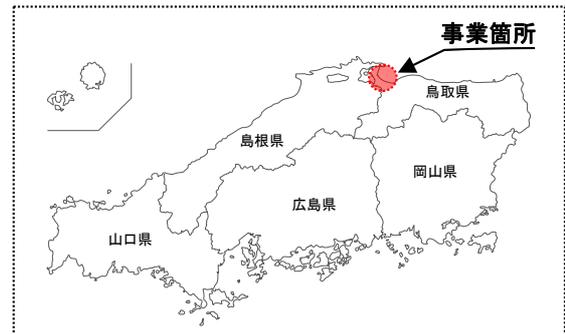
事業推進

1. 事業の必要性及び概要

皆生海岸は、「かなな流し」の衰退等に伴い日野川からの流出土砂が減少したことから著しい海岸侵食が生じています。背後には皆生温泉や住宅密集地があり、国道431号線沿いには家屋や商業店が多数進出し人口も増加していることから、砂浜を保全するために沖合施設等の設置を実施します。

2. 事業箇所

とみす
鳥取県米子市富益地先



3. 平成28年度(補正)予定事業内容

皆生海岸の侵食対策として、富益工区において人工リーフ改良を実施します。



4. 期待される整備効果

海岸侵食による被害を防止するとともに、利用者が安心して快適に利用できる自然豊かな砂浜を保全します。

事業推進

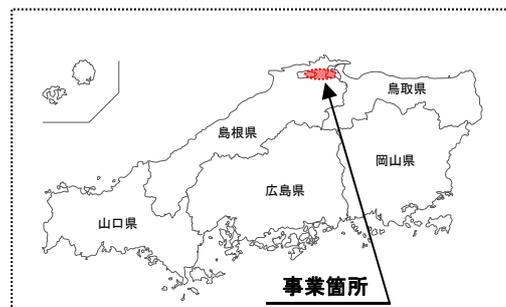
1. 事業の必要性及び概要

大橋川は「水の都松江」を象徴する風情ある水辺景観を醸し出す川である反面、沿川は堤防が未整備であるとともに、上下流の2箇所にて狭窄部を抱えるため、戦後最大の浸水被害が発生した昭和47年7月豪雨や、平成18年7月豪雨により、山陰地方の中心都市である県都松江の中心市街地が浸水するなど、甚大な被害が発生しました。

このため、平成27年9月関東・東北豪雨を受け、策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」の取組の一環として、堤防整備等を緊急的に行い、治水安全度の向上を図ります。

2. 事業箇所

まつえ ふくとみちよう ひがしちやまち
島根県松江市福富町～松江市東茶町地先



3. 平成28年度(補正) 予定事業内容

斐伊川大橋川地区において、護岸整備等を推進します。



4. 期待される整備効果

堤防整備等を実施することで、河川整備計画の目標である昭和47年7月洪水(戦後最大の洪水)が再び発生した場合においても、家屋の浸水被害の防止が図られます。

事業推進

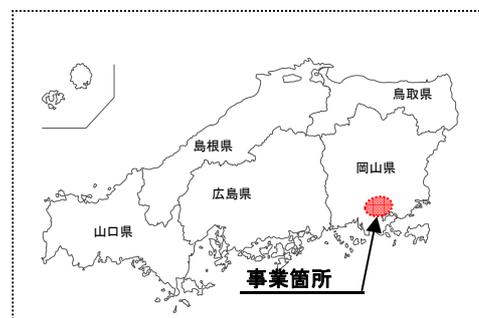
1. 事業の必要性及び概要

百間川河口水門は、高潮対策、内水排除、塩害防止の機能を有している他、洪水時の適切な操作により旭川放水路(百間川)の洪水を円滑に排水する重要な施設です。

当該施設はレベル2地震動に対して耐震性能が不足しており、地震により施設の操作が不能となった場合、治水・利水の両面に多大な影響を及ぼすことから、耐震対策を緊急的に行い、治水安全度の向上を図ります。

2. 事業箇所

おかやま なかく おきもと
岡山県岡山市中区沖元地先



3. 平成28年度(補正)予定事業内容

百間川河口水門において、耐震対策(堰柱) N=2基を実施します。



4. 期待される整備効果

耐震対策を実施することで、大規模地震が発生した場合においても、水門の被災を軽減し、放水路の効果を発現します。

事業推進

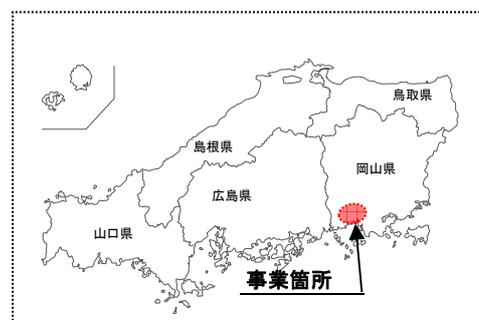
1. 事業の必要性及び概要

高梁川の河口部である岡山平野は干拓により形成されたゼロメートル地帯であり、高潮による浸水被害を受けやすく、沿川地区においては、平成16年の度重なる台風襲来による高潮の影響により浸水被害が発生しました。

このため、平成27年9月関東・東北豪雨を受け、策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」の取組の一環として高潮対策を緊急的に行い、治水安全度の向上を図ります。

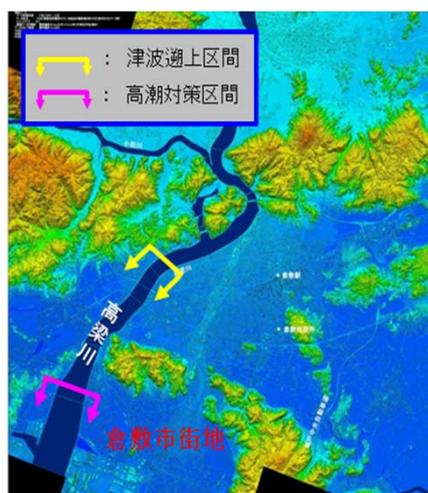
2. 事業箇所

岡山県くらしき倉敷市たましまおとしま玉島乙島地先



3. 平成28年度(補正)予定事業内容

高梁川の下流部において、高潮対策L=200mを実施します。



4. 期待される整備効果

高潮堤防を整備することで、既往最大の平成16年高潮が再び発生した場合においても、浸水被害が解消されます。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

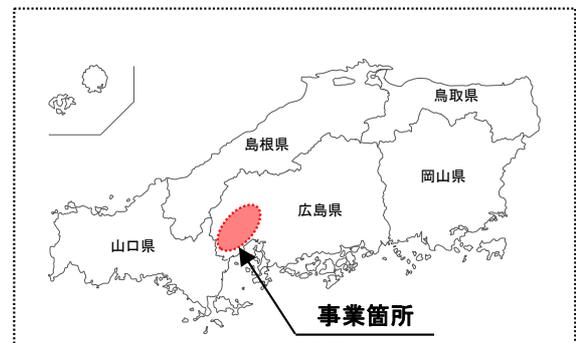
広島西部山系は広島県の西部に位置する広島市、廿日市市、大竹市の3市にまたがる地域で、平成11年の広島豪雨災害を契機に平成13年度より直轄砂防事業に着手しています。

平成26年8月豪雨においては、広島市安佐南区から安佐北区を中心に、土砂災害による甚大な被害が発生しました。

土砂災害による被害の発生を防止し、土石流から人命や資産等を保全するため砂防堰堤等の整備を推進します。

2. 事業箇所

広島県広島市安佐北区



3. 平成28年度(補正)予定事業内容

砂防施設等の整備を実施します。



4. 期待される整備効果

土石流が発生する危険性のある溪流の下流に人家・避難場所等が位置している地区において、「砂防堰堤等の整備」などを推進することにより、土石流から人命や資産等を保全します。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

平成26年8月豪雨においては、広島市安佐南区から安佐北区を中心に、土砂災害による甚大な被害が発生しました。この災害により被害を受けた地域の溪流は荒廃が進んでおり、今後の降雨による土砂災害の危険性が高くなっているため、早急な対策が必要です。

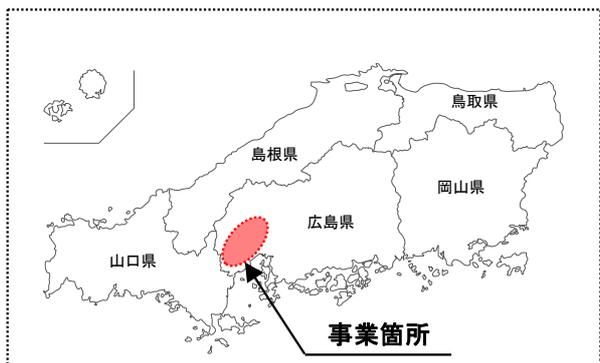
土砂災害による被害の発生を防止し、土石流から人命や資産等を保全するため砂防堰堤等の整備を推進します。

2. 事業箇所

広島県広島市安佐北区

3. 平成28年度(補正)予定事業内容

大林地区において砂防堰堤等の整備を実施します。



4. 期待される整備効果

平成26年8月豪雨により甚大な被害を受けた溪流において、集中的に砂防堰堤等の整備をおこなうことにより、再度災害の発生を防止し、土石流から人命や資産等を保全します。

さばがわ
佐波川一般河川改修事業
はた
(畑地区)

河-9

事業費40百万円(ゼロ国債)
※佐波川水系全体

事業推進

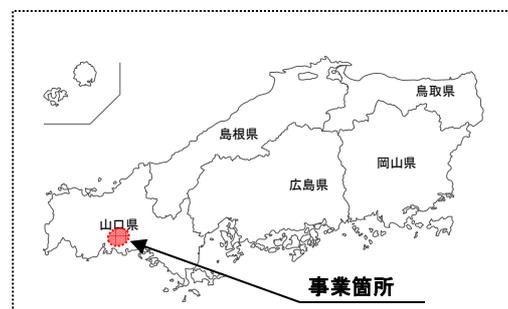
1. 事業の必要性及び概要

佐波川畑地区は、河道内の土砂堆積により流下能力が不足している箇所です。

このため、平成27年9月関東・東北豪雨を受け、策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」の取組の一環として、河道掘削等を緊急的に行い、治水安全度の向上を図ります。

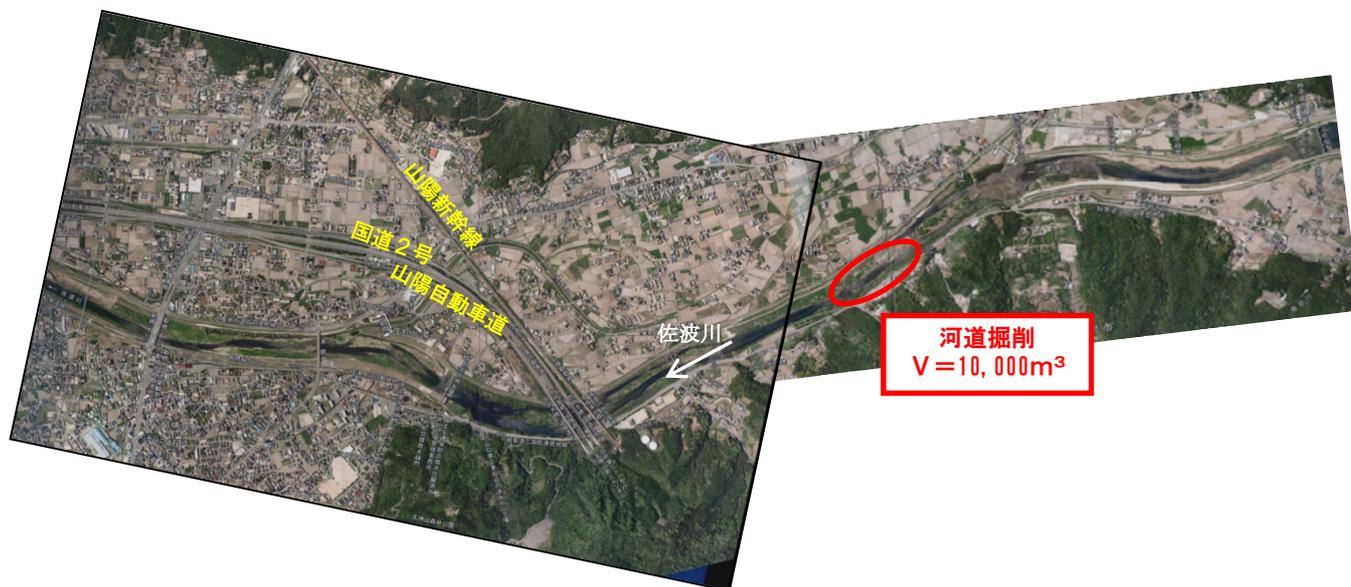
2. 事業箇所

ほうふ、はた
山口県防府市畑地先



3. 平成28年度(補正)予定事業内容

佐波川畑地区において、河道掘削 $V=10,000\text{m}^3$ を実施します。



4. 期待される整備効果

河道掘削を実施することで、河川整備計画の目標である昭和26年7月洪水(戦後最大の洪水)が再び発生した場合においても、家屋の浸水被害の防止が図られます。

1. 事業の必要性及び概要

老朽化が進行している河川管理施設(護岸・樋門)について補修を実施します。
補修においては、劣化状態を適切に評価することで効率的な補修等を行い、ライフサイクルコストの低減に努めます。

2. 事業箇所

中国地方整備局管内

3. 平成28年度(補正)予定事業内容

老朽化が進行している河川管理施設(護岸・樋門)について次の梅雨期までに必要な補修の対策を実施し機能の回復および延命化を図ります。



護岸基礎の洗掘状況



4. 期待される整備効果

河川管理施設の補修を適切に行うことにより、施設の信頼性を確保するとともに、延命化等によるトータルコストの縮減が図れます。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

山陰道 鳥取西道路は、災害時の代替路の確保、鳥取市内の交通混雑緩和を目的とした、鳥取市本高から同市青谷町青谷に至る延長19.3kmの自動車専用道路です。

2. 事業箇所

鳥取県鳥取市本高～鳥取市青谷町青谷



3. 平成28年度(補正) 予定事業内容

次年度発注予定工事であった、改良工事、舗装工事等を前倒しすることで、発注の平準化を行い、効率的な事業進捗をはかります。

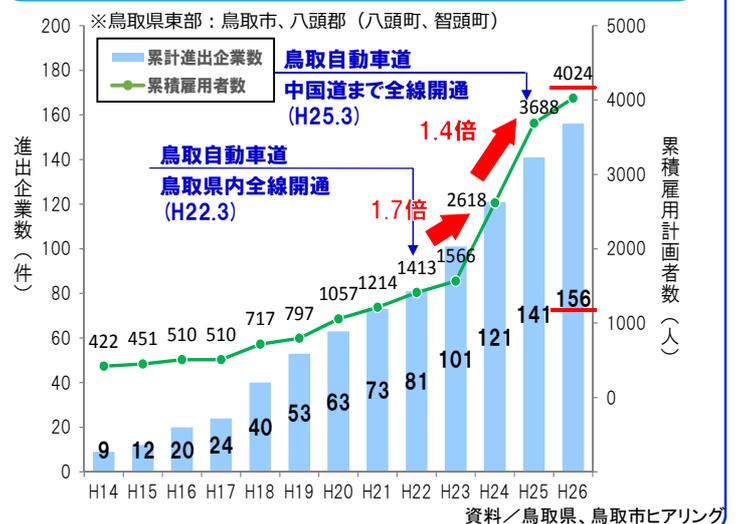


4. 期待される整備効果

■ 企業立地の促進・雇用創出の促進

- 企業進出が増加傾向にあり、鳥取西道路周辺では開通を見据え、新たな工業団地整備に向けた検討を本格化しています。
- 鳥取西道路の整備により、企業進出の促進、雇用の場の創出が図られ、地域活性化が期待されます。

鳥取県東部地域の企業進出状況 (H14以降累積)



鳥取9号交差点改良等

(湯梨浜・北栄地区事故対策) 事業費549百万円(ゼロ国債)

道-2

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

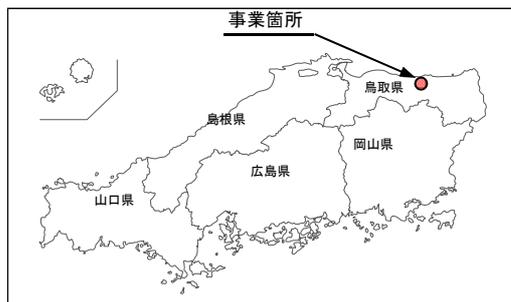
当該箇所を含む国道9号の湯梨浜から北栄間は、一般道の長い直線が続く区間で、スピード超過しやすい区間となっており、長瀬浜入口交差点・長瀬新川入口交差点及び新旧国道313号との交差点で信号停止車両への追突や右折車両との正面衝突が多く発生し、死亡など重大事故が発生しています。本事業は、2区間の交差点立体化による事故対策を行い、事故削減を図るものです。

2. 事業箇所

鳥取県東伯郡湯梨浜町はわい長瀬、北栄町国坂～松神

3. 平成28年度(補正) 予定事業内容

2区間の交差点立体化の整備を推進します。



写真① 工事の状況(湯梨浜地区)

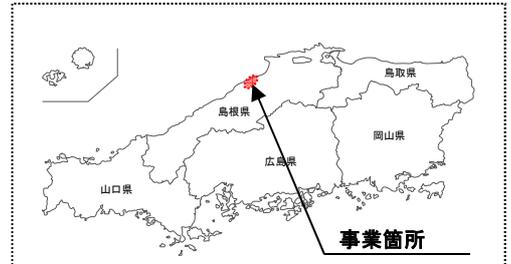
事業推進

1. 事業の必要性及び概要

山陰道 朝山・大田道路(延長6.3km)は、島根県の東西の連絡性の強化、広域的な交流連携、災害時の代替路の確保、現道急カーブや急勾配の解消等を目的とした山陰道の一部を構成する道路です。

2. 事業箇所

しまね いずも たき ちようくむら おおだ くて ちようさつか
島根県出雲市多伎町久村～大田市久手町刺鹿



3. 平成28年度(補正)予定事業内容

次年度発注予定工事であった、舗装工事を前倒しすることで、発注の平準化を行い、効率的な事業進捗をはかります。



写真① 波根地区



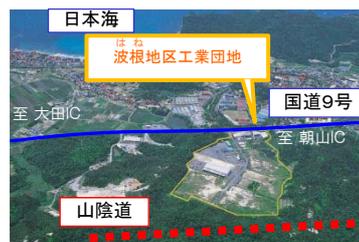
写真② 波根川橋



写真③ 朝山IC付近

4. 期待される整備効果

波根地区工業団地では、山陰道の整備により工業団地への問い合わせが増加しており、新たな企業進出が期待されます。



波根地区工業団地周辺状況



資料: 大田市役所政策企画部政策企画課

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

倉敷立体は倉敷市内の交通混雑の緩和及び交通安全の確保、都市機能の充実、地域経済の発展を目的とした延長7.7kmの道路です。

2. 事業箇所

岡山県倉敷市新田～倉敷市船穂町船穂

3. 平成28年度(補正)予定事業内容

次年度発注予定工事であった、PC上部工事を前倒しすることで、発注の平準化を行い、効率的な事業進捗をはかります。



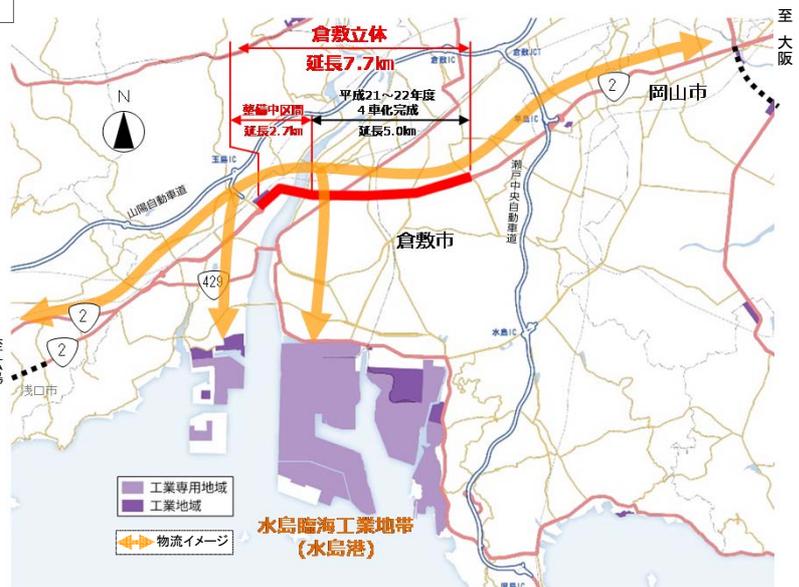
【写真①】上流側より望む



【写真②】高梁川大橋施工状況

4. 期待される整備効果

- 水島港を含めた水島工業地帯は岡山県内の製造品出荷額の約5割を占めており、倉敷市においては全国4位(西日本1位)の製造品出荷額となっています。
- 現在、当該区間を利用し、東西方向への輸送しており、倉敷立体の道路整備により円滑な物流活動の支援、企業活動の活性化が期待されます。



一般国道313号 はつわしもながた 初和下長田道路(岡山県)

道-5

事業費 220百万円(ゼロ国債)

1. 事業の必要性及び概要

ほうじょうゆばら おかやまよなご ゆばら ほうじょう
北条湯原道路は、中国横断自動車道岡山米子線の湯原ICと国道9号北条ICとを結び、鳥取
くらよし まにわ
県倉吉圏域と岡山県真庭圏域の交流を促進し、中国横断自動車道岡山米子線等と一体となり、
広域交通ネットワークを形成する延長約50km(岡山県約20km)の地域高規格道路です。

はつわ しもながた
初和下長田道路は、この一部を構成し、幅員狭小、線形不良箇所、防災点検要対策箇所の解
消を目的とした延長6.2kmの道路です。

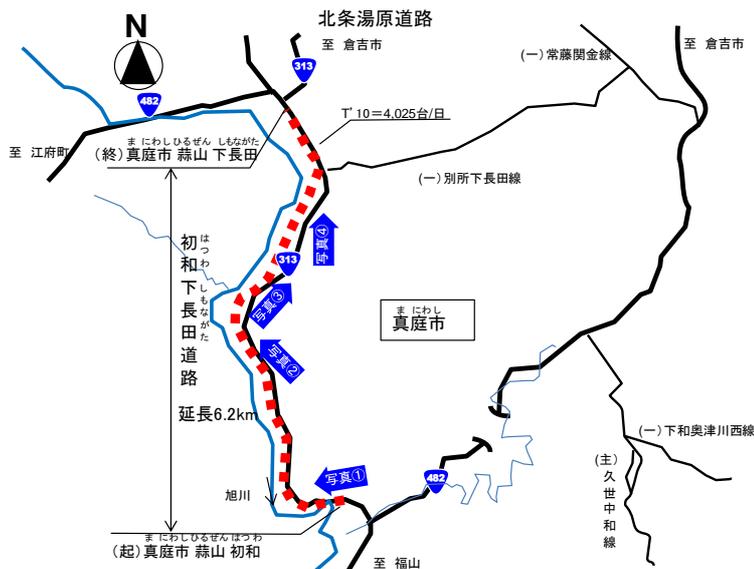
事業推進

2. 事業箇所

まにわ ひるぜんはつわ まにわ ひるぜんしもながた
岡山県真庭市蒜山初和～真庭市蒜山下長田

3. 平成28年度(補正)予定事業内容

平成30年度の開通に向け、改良工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

交通の安全性及び走行性の向上

幅員狭小、線形不良箇所の整備を行い、また堆雪帯を確保することで冬期も含めた円滑な交通を確保し、また防災点検要対策箇所を解消することにより、安全安心な道路ネットワークを確保します。



【写真③】冬期積雪による円滑な交通の阻害



【写真④】線形不良による大型車のはみ出し状況



工事状況写真



【写真①】初和地区土工(掘削工)



【写真②】野田地区土工(護岸工)

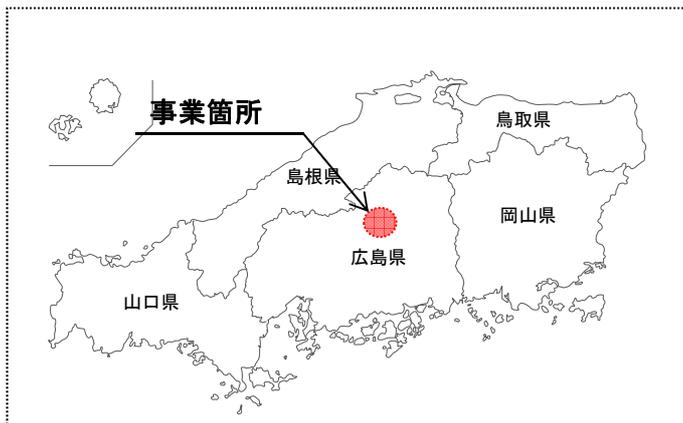
防災・老朽化対策

1. 事業の必要性及び概要

一般国道54号は、広島県広島市を起点とし島根県松江市に至る全長約177kmの主要幹線道路であるとともに、第一次緊急輸送道路に指定されています。防災対策を実施することで、地震発生時等における被害を軽減し、安全・安心で信頼性の高い道路ネットワークの確保を図ります。

2. 代表事業箇所

一般国道54号 三次市三原町地区 防災対策
(広島県三次市三原町)



3. 平成28年度(補正)予定事業内容

地震発生時に落石崩落のおそれのある三次市三原町地区において、落石予防工、落石防護柵工等の防災対策を行います。

斜面状況



【浮石】



【転石群】

対策事例

落石予防工



落石防護柵工



一般国道2号 東広島バイパス 事業費 542百万円(ゼロ国債) 道-7

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

東広島バイパスは東広島市と広島市内の地域間連携強化、交通渋滞の緩和、交通安全の確保、災害時の代替路の確保を目的とした延長17.3kmの自動車専用道路です。

2. 事業箇所

広島県広島市安芸区上瀬野町～安芸郡海田町南堀川町

3. 平成28年度(補正) 予定事業内容

次年度発注予定工事であった、橋梁下部工事を前倒しすることで、発注の平準化を行い、効率的な事業進捗をはかります。



写真①海田高架橋の施行状況



写真②海田西IC付近の状況

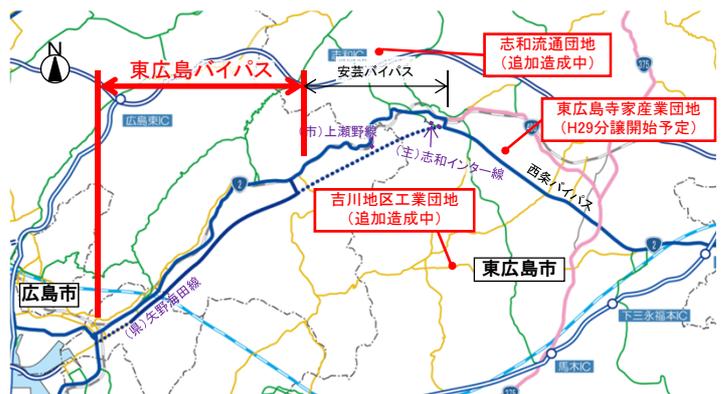


写真③海田西IC 橋梁下部工

4. 期待される整備効果

物流の効率化・企業活動の活発化

- 東広島市内には多くの工業団地が集積し、年々立地企業数も増加しています。
- また、既設工業団地の拡張や新規造成を行っており、バイパス整備により物流の効率化、企業活動の活発化が期待されます。



事業推進

1. 事業の必要性及び概要

山陰道 長門・俵山道路は、一般国道491号や主要地方道 下関長門線等の要防災対策箇所、事前通行規制区間の解消、俵山地区の災害時の孤立回避、広域的な交流連携を目的とした、延長5.5kmの自動車専用道路です。

2. 事業箇所

山口県長門市俵山小原～長門市深川湯本

3. 平成28年度(補正) 予定事業内容

次年度発注予定工事であった、改良工事を前倒しすることで、発注の平準化を行い、効率的な事業進捗をはかります。



写真① 赤ノ谷橋施行状況



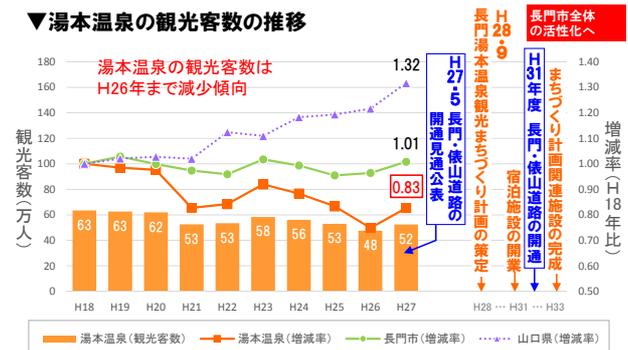
写真② 長門IC付近施行状況

4. 期待される整備効果

○長門市は、H28年9月に「長門湯本温泉観光まちづくり計画」を策定し、H43年までに宿泊人数33万人へ引き上げる目標設定を行っています。

○湯本温泉は九州からの来泊が多く、長門・俵山道路および山陰道の整備によって観光客の増加が期待されます。

▼湯本温泉の観光客数の推移



資料: 山口県観光客動態調査、山口県の宿泊者数及び観光客の動向

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

山陰地方は国内海上輸送網のミッシングリンクとなっており、境港周辺の企業は非効率な輸送を強いられています。また、既存施設の老朽化や背後用地の不足、船舶航行の安全性の課題から、施設の移転・集約が急務となっています。さらに、境港に定期就航している船舶が利用している岸壁は非耐震であり、大規模地震発生時の物流・人流機能の確保が課題となっています。

このため、新たな内貿RORO船や既存施設の移転・集約に対応したターミナルを整備・耐震強化することで、境港のふ頭再編を行い、物流機能の効率化、山陰地方の産業競争力強化を図ります。

2. 事業箇所

さかいみなと
鳥取県境港市

3. 平成28年度(補正) 予定事業内容

岸壁(水深10m)の整備に必要な地盤改良工事を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、山陰地方の国内海上輸送網のミッシングリンクが解消され、海上物流機能が向上し、境港背後圏をはじめとした周辺地域の産業競争力強化が図られます。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

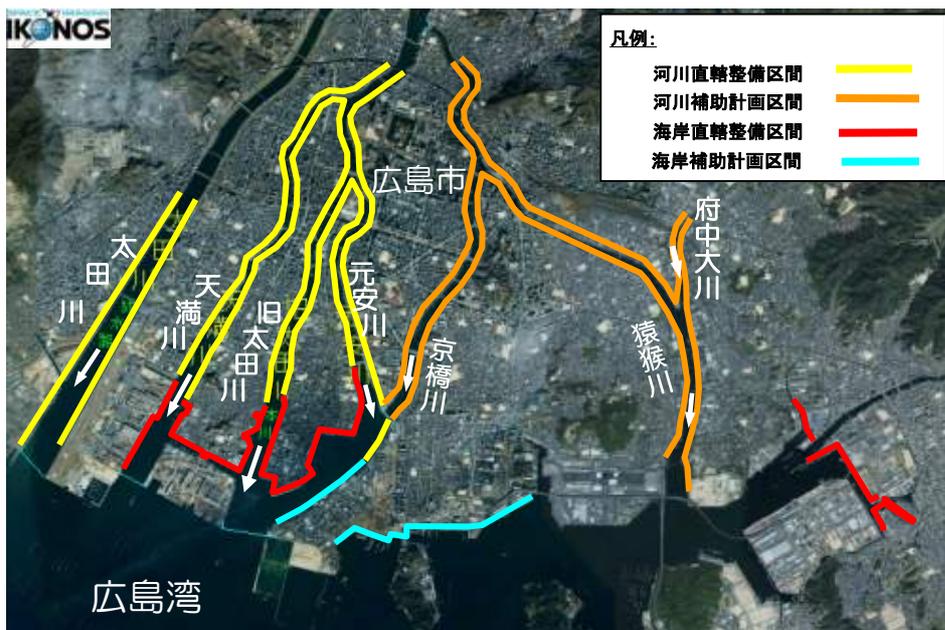
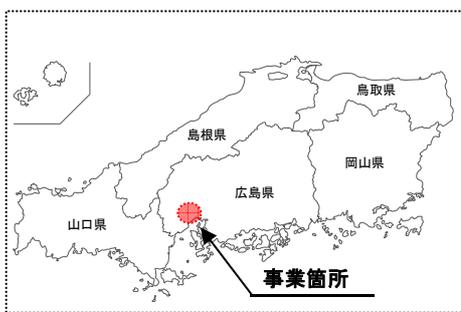
「ゼロメートル地帯」の広島デルタに発達した広島市街地は、高潮による浸水被害を受けやすく、また、大規模な地震による液状化現象が発生した場合には、堤防等が沈下・崩壊する可能性があり、満潮時には河川水や海水が市街地へ流入し、甚大な浸水被害が発生する恐れがあります。

このため、広島市街地を高潮被害から防御することを目的として、高潮対策事業を実施しています。

なお、早期に事業を完成させるため、市・県・国の河川事業と海岸事業が連携して高潮対策事業を推進しています。

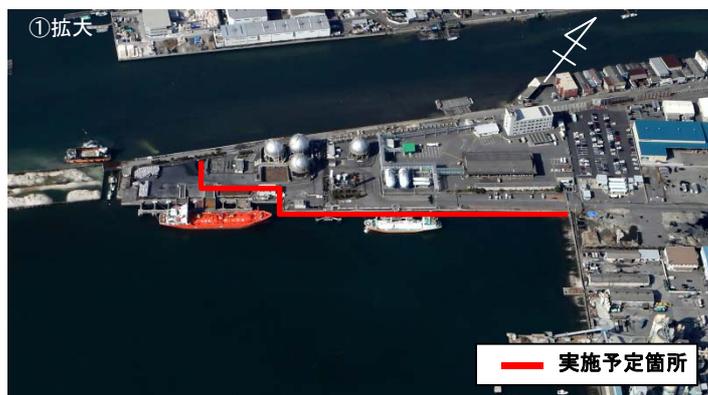
2. 事業箇所

ひろしま
 広島県広島市、
 あき かいたちょう
 安芸郡海田町



広島市街地は、平成16年の台風等、過去数次に渡り高潮被害を受けています。また、今後発生が危惧される東南海・南海地震への対策も進める必要があります、さらに平成23年3月に発生した東日本大震災を契機に、海岸事業の重要性がより一層高まっているところです。

このため、中央東地区(矢野)において、高潮、津波に対応するため、護岸の嵩上げ、耐震改良を実施します。



3. 期待される整備効果

- 高潮対策を実施することで、広島市街地に甚大な浸水被害をもたらした、平成16年高潮が再び発生した場合にも浸水被害の防止・軽減を図ることができます。
- 広島市街地の海岸護岸の嵩上げ、耐震改良、液状化対策を実施することにより、背後の市街地の浸水被害を防止・軽減し、市民の皆様の生命、財産を守ります。

徳山下松港国際物流ターミナル整備事業(徳山地区)

港-3

事業費1,200百万円(ゼロ国債)

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

徳山下松港は背後に基礎素材型産業が集積しており、平成23年5月には、国際バルク戦略港湾(石炭)に宇部港とともに選定される等、更なる発展が期待されています。

近年、背後企業の生産設備、発電設備等の増強に伴い、発電用燃料の石炭輸入が増加しているものの、船舶の大型化に対応した航路・泊地の水深が不足していることから、大型貨物船が満載で入港できず、効率的な輸送への対応が課題となっています。

このため、徳山地区において、国際物流ターミナルの整備を推進します。

2. 事業箇所

山口県周南市

3. 平成28年度(補正) 予定事業内容

航路(水深14m)、泊地(水深14m)の浚渫工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、石炭等のバルク貨物の安定的かつ低廉な輸送が確保されることにより、基礎素材型産業の国際競争力強化を通じ、日本経済の発展、雇用の確保等に寄与します。